

關根文之助 せいのすけ 宗教評論家、歌人、文學・哲學博士。大正元年九月二十八日東京生れ（一九二一）。昭和九年國學院大學卒業。東洋英和女學院短期大學教授、共愛學園學園長、高千穂國科大學教授・學長等歴任。聖書協會改譯委員。

著書、聖書 對話劇集「ロシヤロンの野花」（昭和九年十月二十五日教文館出版部）、

「街路樹」（昭和十四年十一月二十日愛知・羊門社）「羊門文庫」現代宗教歌入叢書」）、

「日本文 明の父へボン博士」（昭和二十四年九月二十日香柏書房）、

「キリスト教と諸宗教」（昭和二十八年六月二十日創元社「キリスト教叢書」）、

「河井道の生涯」（昭和二十九年十一月二十日新教出版社）、

「ごんじお鳩」（合著・基督教文筆家協會編、昭和二十一年五月五日日本基督教協議會文書事業部「キリスト教童話集」）、

「キリスト教用語辞典」（編、昭和二十二年十月二十五日大阪・新元社）、

「日本精神史とキリスト教」（昭和二十七年四月二十日大阪・創元社）、

「はるかばる道」婦人のための短歌鑑賞」（昭和二十九年二月十日大阪・大阪キリスト教書店「みぎわ双書」）、

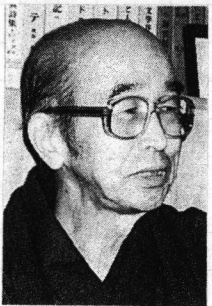
「放送児童文化論」児童番組の教育的研究」（合著・日本放送作家協會児童文化部会編著、昭和二十九年八月二十日黎明書房）、

「關根文之助集」一塵程」（平成二年四月二十日近代

文藝社「日本全

國歌入叢書」）

等。



關根文之助
國歌入叢書
等。

